

社会資本総合整備計画（市街地整備）事後評価書

令和2年3月27日

計画の名称	鳥取市「安心して暮らしてつづけられる街なかの実現」						重点計画の該当	○				
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）			交付対象	鳥取市							
計画の目標	鳥取市の中心市街地は、第1期中心市街地活性化基本計画（平成19年度～24年度）に基づく取り組みにより、居住人口は微増したものの、低未利用地の増加がとどまらないうえ高齢化率も依然として高い水準にあり、今後の人口減少に伴う空洞化の進行が懸念される。また、地域の重要な医療施設など都市福利施設の老朽化や、空き建築物の増加による倒壊、火災などのリスクや防犯上の問題などにより、生活環境維持に支障をきたす懸念がある。そこで、中心市街地における都市福利施設や公益機能の整備、立地に対する支援などによる都市機能の確保や、良好な住宅の流通や地域での公益的活動のための既存ストックの活用支援などにより、安心安全な生活環境を提供することで人口流入を促進し、住みたい、住み続けやすい中心市街地の形成をはかる。											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の居住人口（社会増減）について、推計ではマイナスとなっている平成25年度から平成29年度の平均値をプラスにする。 中心市街地の歩行者通行量（平日）を13,229人（H24）から14,000人（H29）に増加 											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値		備考			
							当初現況値	中間目標値	最終目標値			
							H24		H29			
中心市街地の居住人口（社会増減数）							(H18-23平均) 77人増/年		(H25-29平均) 0以上	・指標及び数値は、本市の第2期中心市街地活性化基本計画と共通		
中心市街地の歩行者通行量							13,229人		14,000人			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	169百万円	A	148百万円 (うち提案事業分(0)百万円)	B	0百万円	C	21百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合	12.4%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本事業を所管する中心市街地整備課が実施	令和2年3月 公表の方法 鳥取市公式ウェブサイトに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考 (提案)
									H25	H26	H27	H28	H29		
2-A-1	都市再生	一般	鳥取市	間接	民間（日本赤十字社）	尚徳町地区暮らし・にぎわい再生事業	医療施設建て替え補助 A=2.0ha	鳥取市						148	別添1 (0)
合計												148	(0)		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
2-C-1	活動支援	一般	鳥取市	間接	民間	空き家空き床対策助成事業	中心市街地における、空き家等活用のための改修に対する支援	鳥取市						13	
2-C-2	活動支援	一般	鳥取市	間接	民間	まちなか個人住宅取得資金利子補給事業	中心市街地における、空き家等活用のための取得に対する支援	鳥取市						8	
合計												21			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
2-C-1	暮らし・にぎわい再生事業計画（尚徳町地区）の区域内での取組とあわせて、中心市街地内の空き家住宅及び空き建築物の改築費等を助成することで、中心市街地の居住環境の整備改善及び活性化に資する。	
2-C-2	暮らし・にぎわい再生事業計画（尚徳町地区）の区域内での取組とあわせて、中心市街地内の空き家住宅及び空き建築物の取得費等を融資で調達した際の利子相当分を助成することで、中心市街地の居住環境の整備改善及び活性化に資する。	

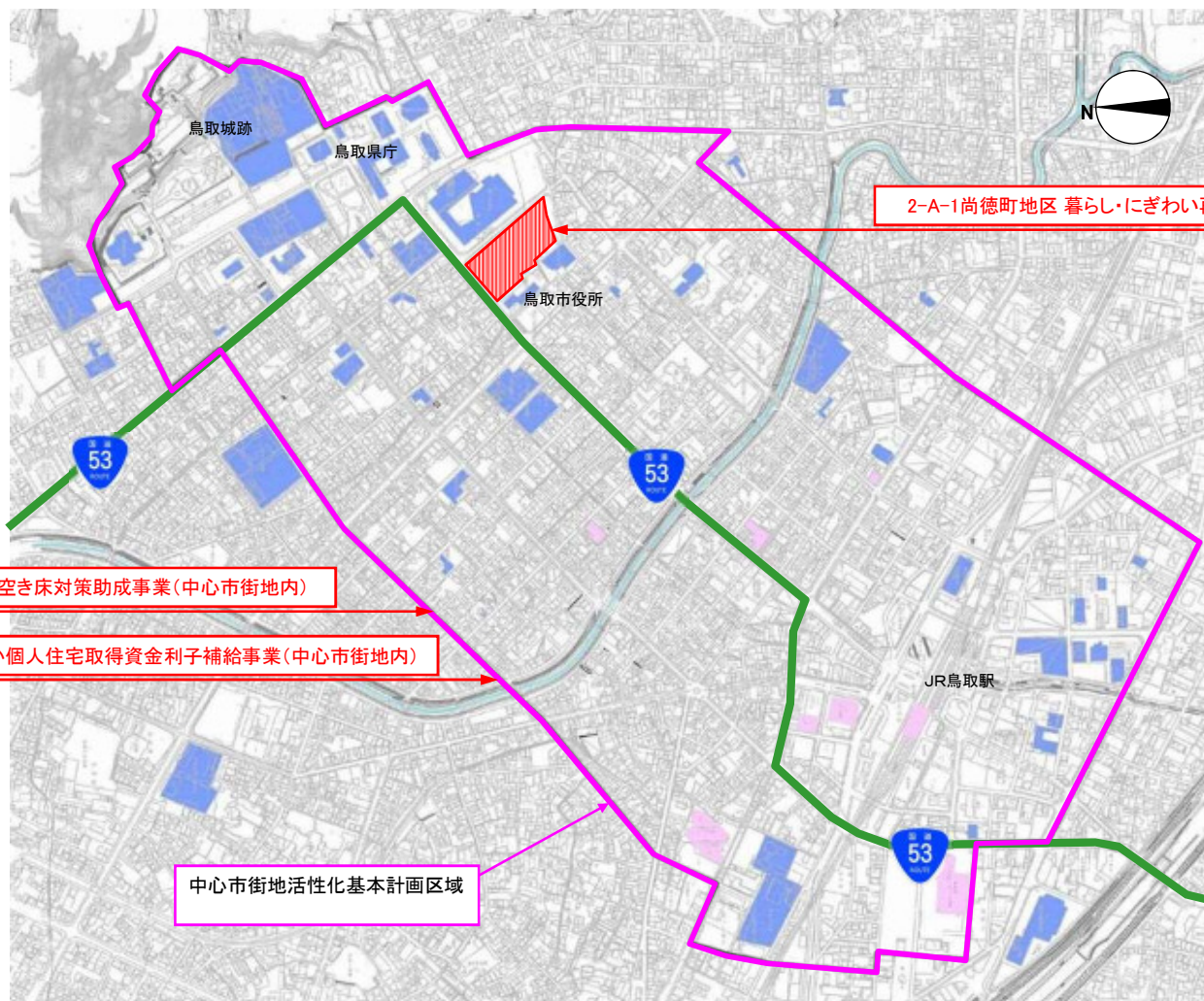
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関する交付金対象事業の効果の発現状況			①中心市街地における都市福利施設の整備及び居住促進施策等により、社会増減数は増加している。 ②平成28年1月新本館の一部がオープンし、鳥取赤十字病院前の歩行者通行量が増加するとともに、指標の数値も上昇した。							
II 定量的指標の達成状況		中心市街地の居住人口 (社会増減数)	最終目標値	0以上	目標値と実績値 に差が出た要因	中心市街地の居住人口はほぼ横ばいで推移するとともに、社会増減数は増加し、目標値が達成できた。				
		中心市街地の歩行者通行量	最終目標値	14,000人	目標値と実績値 に差が出た要因	鳥取赤十字病院前の歩行者通行量が増加するとともに、調査地点全体の通行量も増加し、目標値が達成できた（日赤病院前H24年度1,951人、H29年度2,822人）				
III 定量的指標以外の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		鳥取赤十字病院新本館は平成30年5月にグランドオープンした。1階にあるレストラン、コンビニエンスストア、多目的ホールなどの施設が、病院利用者のほか地域住民にも利用されている。								

3. 特記事項(今後の方針等)										
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における安全安心で快適な生活環境の提供、都市機能の充実などにより、街なか居住の推進と賑わいの創出を図り、中心市街地の再生につなげる。 少子高齢化の進展による地域のコミュニティ機能の低下が懸念されている現状を踏まえ、若年層を中心とした中心市街地の居住促進を図る。 既存ストックを活用した住環境の整備促進、子育てにやさしい生活環境づくり等により、街なか居住を推進する。 空き家、空き店舗等の再生、活用により、エリアの魅力向上、地域課題の解決を図り、地域の再生につなげる。 										

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	鳥取市「安心して暮らしてつづけられる街なかの実現」		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	鳥取市



2-C-1 空き家空き床対策助成事業(中心市街地内)

2-C-2 まちなか個人住宅取得資金利子補給事業(中心市街地内)

中心市街地活性化基本計画区域

2-A-1 尚徳町地区暮らし・にぎわい再生事業